



▲CMSC青森の館山選手と取材に来た「フレイドライブ」誌の清水博志さん(右)

▲明け方のスペシャル・ステージ「岩木山スカイライン」

CMSC青森 主催 '85ダイヤスターラリー イン青森 (東北ラリーチャンピオンシリーズ 第4戦) : 8月3日(土)~4日(日)

三菱車がCクラス上位を独占!

ねぶた祭で賑う弘前で開催された'85ダイヤスターラリーイン青森は、弘前市郊外をスタートし岩木山麓をめぐる約270kmのコースで行なわれました。コルディア4WD、ランサー勢が1~4、6位と大活躍。ラリーアート杯争奪にふさわしい結果となりました。「全国のCMSCのみなさんも、ぜひ青森の大会に参加してください」と語る鶴ヶ谷会長。シリーズチャンピオンを狙う館山選手達を全員でバックアップしていくそうです。

▼ベテランペア高野正伸 / 志賀正明組
コルディア4WD(CMSC福島)は2位



▲優勝した高藤伸二 / 崎山博行組
コルディア4WD



CMSC福島の藤島光男 / 今野泰正組ランサーは4位



▲全日本ナビコンピ、村上一平 / 草加浩平組 / 大西の
コルディア4WDを駆って3位



CMSC帯広 主催 第2回CMSC 帯広コルトラリー (道東チャンピオンシリーズ 第1戦) 6月22日(土)~23日(日)

鈴木・広瀬組ランサーが優勝!

第2回CMSC帯広コルトラリーは、帯広近郊の帯別町を基点とする約200kmのコースで行なわれました。道内で開催される全日本戦では上位にくい込む実績をもつ鈴木 / 広瀬組 (アクスル創路) が順当にCクラス優勝。

その後、7月6日(土)~7日(日)創路で開かれた道東シリーズ第2戦「道東トロフィ杯争奪ナイトラリー」では、CMSC帯広の西保 / 中井組がCクラス優勝。シリーズチャンピオンを狙うとのこと。青沼選手をはじめ、若手の活躍が楽しみです。

▼大会の成功を喜ぶCMSC帯広のみなさん



▲競技車を笑顔で迎えるCMSC帯広の若手メンバー

▲ランサーを駆って優勝し三菱賞1位に輝く鈴木昭江(左)、広瀬泰伸(右)両選手



▲2年間連続殊上のチャンピオン青沼選手(左、今日は大会事務局)



▲組織委員長の大役をこなした、佐藤会長

▲陰ながらも大会を支えた別賀事務局

CMSC 岩手 主催 第2回岩手三菱ダイヤモンドトライアル('85JMRC東北岩手県ダートトライアルシリーズ第6戦)：7月7日(日)

10月には岩手三菱ダイヤモンドラリーを主催

7月7日(日)岩手県矢巾町の特設会場で、CMSC岩手主催による“JMRC東北岩手県シリーズ第6戦岩手三菱ダイヤモンドトライアル”が行なわれた。

梅雨空の下、前日までの大雨も明け方には、やっと小康状態となり、開会式には小雨がばらついたが、大勢の参加者で賑った。

この岩手県シリーズ戦は昨年から定着し、回を重ねるごとに参加台数も増え、頼もしいことにレアシスの参加も2台。我がチームの紅一点、高橋昌代選手も益々やる気が出てきて各大会に遠征している。レアシスの参加も増え、定着するのを望んでいる。

その反面、盛岡市から15分程度で行ける矢巾町の特設会場が来年から利用できなくなるという情報が入り、深刻な問題になりつつある。本拠地の近くにコースがとれなくなれば、活動にも支障をきたす恐れもあり、頭の痛いところである。

さて今回のコースは、距離1.3km。当初の設定では1分30秒をきれるかが勝負どころだったが、長雨にコース全体が泥沼状態。ひどい所では水深20cmを越えるところもあり、記

録的には今ひとつだった。しかし参加車輛73台のほとんどが完走。ダート野郎の意気込みの凄さを感じられた。

各クラスの優勝は、B Iクラスが岩淵選手(1'42"34)、B IIが府金選手(1'46"90)、C Iが佐藤選手(1'44"41)、C II Dが斉藤選手(1'40"80)、R Iが阿部選手(1'42"43)、R IIが武田選手(1'44"67)という結果となり、第1ヒートでトップタイム1分40秒80をたたき出した斉藤選手が他を寄せつけず最後まで逃げきった。

今回はタイムスケジュールを考慮し、1台目がゴールする前に2台目がスタートする新方式で行なった。そのため参加者が多かったにもかかわらず、3時には表彰式が行なえ、スピーディに終了した。初めは慣れなかったオフィシャルも、次第に手際良くなり、大会は大成功のうちに幕となった。

この成功を10月に主催する岩手三菱ダイヤモンドラリーに結びつけるために、クラブ員一丸となって一層努力をしたいと思っている。皆さんもぜひ、大自然いっぴいの岩手ラリーを楽しみに来てください。

(CMSC岩手 佐々木 学)



▲コースの中央に置かれたオフィシャルカー・バジェロ



▲入賞各選手の表彰風景。山程の賞品に注目!



▲全日本ラリー選手権第9戦、栗駒山アルペンラリーにオフィシャル参加したCMSC岩手のみなさん。バックの車は羽豆スタリオン



▲大会本部前からスタート。車は積原選手がランサー。クラブ倉吉



▲あいさつする大坂審査委員長と組織委員長を務めた杉板会長(右端)



▲R IIクラス2位の田栗慎二選手(チーム司)と3位の向井篤選手(チーム司)

CMSC 島根 主催 '85CMSC島根ダートトライアル (日本海ダートトライアルチャンピオンシリーズ第7戦)：8月18日(日)

5年ぶりの主催は、ハイスピード・コースが大好評

8月4日(日)に開かれた日本海ダートトライアル第6戦で、我がチームの国谷選手がN IIクラス2位と、好成績でした。

続いて開かれた'85CMSC島根ダートトライアルは、5年ぶりの主催。準備には万全を



▲第6戦でN IIクラス2位、国谷選手のランサー

期したので、スムーズに行なわれました。記録の書き出しが早かったのと、事前のアンケートに基づいたアナウンスで空白時間をなくしたことが好評でした。

思いっきり走ってもらおうということで、ハイスピード・コースを設定。他の大会があとない設定だったので、常連のエンタラントには喜ばれました。また今回は地方競技で底辺拡大をねらい、初参加の人も結構いたのですが、トライアルの面白さを存分に味わってくれたので、成功だったと思います。

(CMSC島根 見崎 千里)

CMSC 香川 主催 '85CMSCアストロトライアル ('85JAFダートトライアル四国地方選手権)：7月7日(日)

B II、ラリー車クラスでランサーが快走!

例年どおり香川スポーツランドで開催された'85CMSCアストロトライアルは、好天に恵まれ、参加台数も123台と大盛況。CMSC本部の外川会長も出席し、華々しく行なわれました。

B IIクラスでは1位に藤原健二選手(SR

RCC)、2位に細川健司選手(潮流)が、ラリー部門では2位に田中則久選手(O. M. S. C)が入るなど、ランサーの健闘ぶりが目立ちました。11月2日(土)~3日(日)には「CMSCアストロラリー」を開く予定。多勢の参加が期待されます。



▲外川会長(中ほど)とCMSC香川のみなさん



▶優勝した藤原ランサー



▲三菱車賞(右から)1位藤原選手、2位細川選手、3位田中選手

